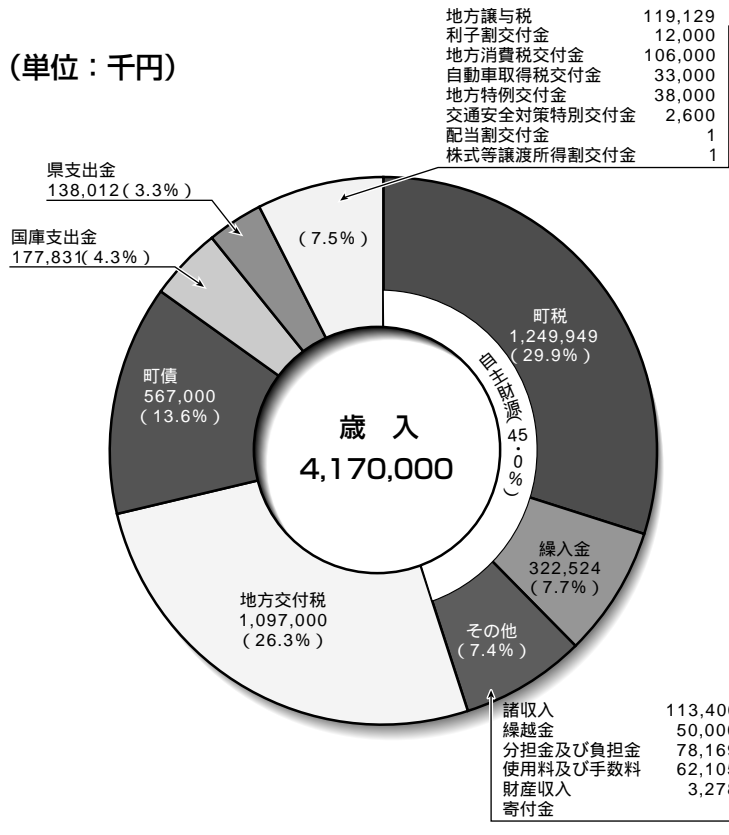


平成16年度予算決まる

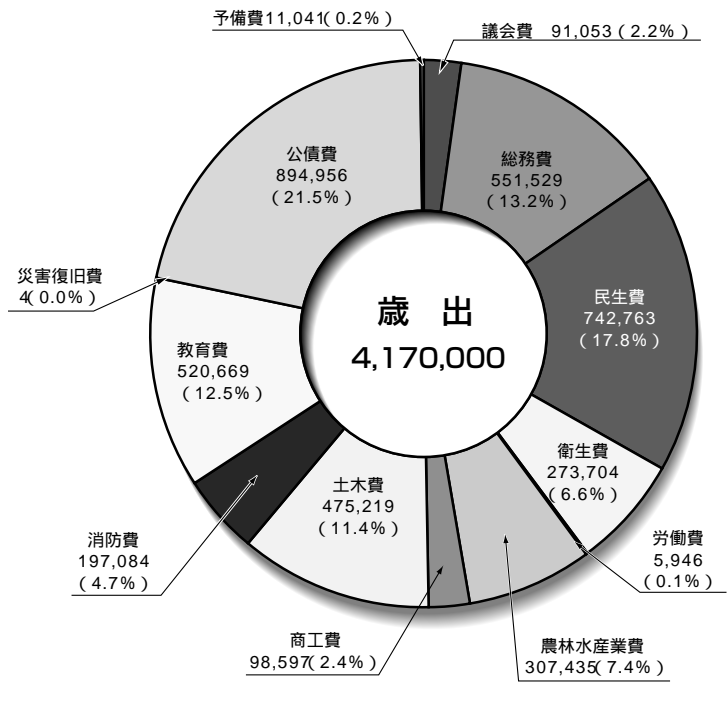
町民のみなさんが幸せを実感できる

まちづくりを目指して

第4回町議会定例会が、3月4日(木)から17日(水)までの14日間開催され、平成16年度の各会計の当初予算など34議案が原案どおり可決されました。厳しい財政状況の中、今年も健全財政を基本に、町民のみなさんが幸せを実感できるまちづくりを目指し、一般会計と特別会計を合わせた当初予算の総額は、81億1,406万円(対前年比0.1%増)となりました。ここでは新年度の当初予算についてお知らせいたします。



平成16年度 一般会計当初予算内訳



平成16年度各会計当初予算 (単位: 千円)

会計区分	本年度	前年度	増減率 (%)	
一般会計	4,170,000	4,140,000	0.7	
国民健康保険特別会計	1,129,343	1,186,844	4.8	
老人保健特別会計	1,094,094	1,142,050	4.2	
介護保険特別会計	429,970	411,227	4.6	
土地取得事業特別会計	57,915	58,808	1.5	
工業団地事業特別会計	178,005	33,000	439.4	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	21,600	72,000	70.0	
公共下水道事業特別会計	565,000	634,000	10.9	
農業集落排水事業特別会計	65,000	67,400	3.6	
育英資金貸付費特別会計	12,182	12,242	0.5	
小計	7,723,109	7,757,571	0.4	
上水道事業会計	収益的	224,598	227,603	1.3
	資本的	166,358	121,481	36.9
	計	390,956	349,084	12.0
合計	8,114,065	8,106,655	0.1	

町の予算のしくみ
町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。一般会計は、町行政運営の根幹をなす会計で、福祉や教育、建設など町の事業の大部分をまかっています。特別会計は、特定の事業について一般会計とは切り離し、独立した経理で行う予算で、町では、老人保健特別会計や国民健康保険特別会計、公共下水道事業特別会計など9つの特別会計がこれにあたります。企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、上水道事業会計が企業会計となります。

一般会計は 実質3.5%の減
一般会計総額は41億7千万円で、前年度と比較して3千万円(0.7%)の増額となりましたが、この中には過去の起債償還分1億7,450万円の借換え分が含まれるため、それを除くと実質的には39億9,550万円で3.5%の減額となります。一般会計の歳入・歳出の内訳は上のグラフのとおりです。歳入では、最も大きい割合を占める町税(町民税・固定資産税等)が、景気の低迷に

よる減収が予想され前年度と比較して0.1%の減額となりました。また、国が市町村の実情に応じて国税の一部を交付する地方交付税についても、国の三位一体の改革により大幅に削減が予想され、前年度と比較して6.6%の減額となりました。歳出については、徹底した事務事業の見直しをはじめ、経費の削減を図りほとんどの項目で予算が削減されましたが、民生費では、保育所の分園化のため前年度比13.1%の増額となりました。

町長の説明(要旨)



行財政のスリム化を図り、新しい時代に対応した地域住民福祉の向上を図るため、平成16年度の予算編成にあたっては、3年目となる第4次総合計画の基本理念である「共に生き、共につくる、牧場の朝のまち、鏡石」の実現に向け、「快適空間づくり」、「元気づくり」、「活力づくり」、「人づくり」、「地域づくり」の5つの柱を軸に、予算の重点的かつ効果的な配分に務めました。

平成16年度の予算編成にあたっては、3年目となる第4次総合計画の基本理念である「共に生き、共につくる、牧場の朝のまち、鏡石」の実現に向け、「快適空間づくり」、「元気づくり」、「活力づくり」、「人づくり」、「地域づくり」の5つの柱を軸に、予算の重点的かつ効果的な配分に務めました。

歳入については、長引く景気の低迷により町民税などの減収が予想され、地方交付税は国の三位一体の改革により大幅に削減されました。そのため将来の財政負担を考慮し、適正な起債枠を確保しながら、基金を取崩すなどして財源を確保したところであります。一方、歳出面については、中期財政計画並びに行財政改革実施計画書により徹底した事務事業の見直しをはじめ、第4次総合計画の推進を図るべく配慮したところであります。主な事業としては、これまで重点事業として取り組んできた南部第1工業団地への企業誘致をはじめ、上水道第4次拡張事業、公共下水道事業、地域戦略プラン事業、道路整備事業など町の将来を見据えた基盤づくりと、地域コミュ

ニティ育成事業として「旭町コミュニティセンター建設事業」を計画しております。駅東第1土地区画整理事業については、国の三位一体改革の影響を受けて先行きが不透明なため事業の繰り延べを行うことになりました。ソフト事業として、今年で3回目となる「牧場の朝 YOSA K O I 祭り」や「ふるさと祭り」への支援、町の将来を担う人材育成と国際化に向け

た「海外文化学習事業」や「児童園児国際化推進事業」を計画しております。さらに、働く若い世代の子育ての負担を軽減するため、各種保健福祉事業と合わせ、町保育所分園事業、幼稚園・保育所での延長保育を実施します。その他、やすらぎとのおいのあるまちづくりのための「フローラのまちづくり」、IT時代にふさわしいまちづくりを進めるため情報政策事業などに取

り組み、町民のみなさんが幸せを実感できるまちづくりを着実に進めたいと思います。このほか、市町村合併については、来年3月に合併特例法の期限が迫るなか、当面は、本町のおかれている地域特性と優位性を最大限に活かしたまちづくりを進めながら、今後も周辺市町村の動向を見極め、町民の総意のなかで最善の道を選択していきたいと考えています。